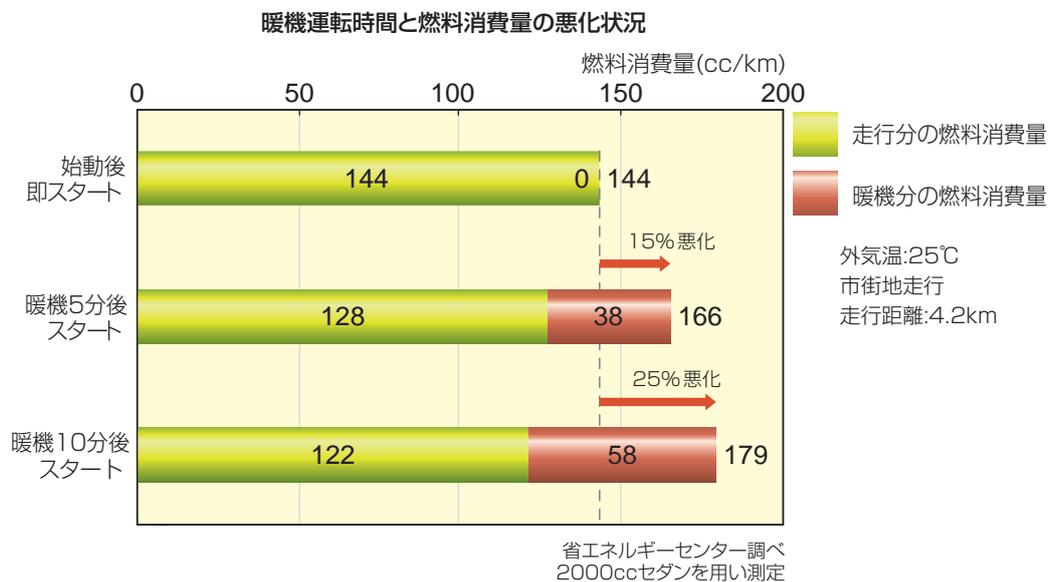


4

運転操作以外のエコドライブ

(1) 暖機運転は適切に

現在販売されているガソリン車においては暖機運転は不要です。寒冷地など特別な状況を除き、走りながら暖めるウォームアップ走行で十分です。暖機することにより走行時の燃料消費は少なくなります。5分間暖機すると160cc程度の燃料を消費するので、全体の燃料消費量は増加します。エンジンをかけたら直ぐ出発して、時間と燃料を節約しましょう。



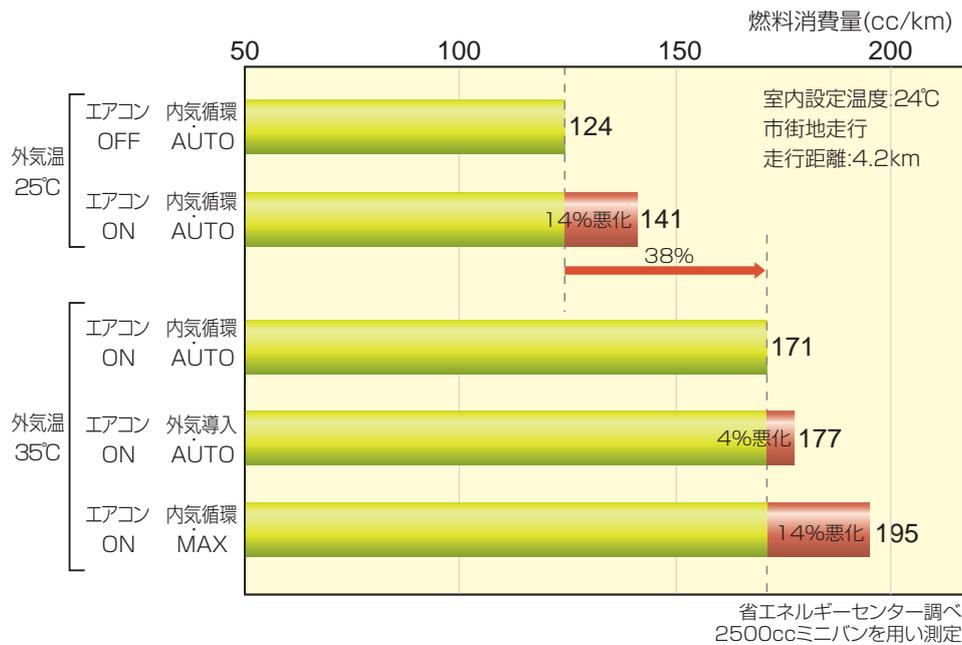
ポイント

- ・暖機することで走行時の燃費は改善されても、暖機のために使われた燃料分を取り戻すことができません。エンジンをかけた後アイドリングで待っているより、走行した方が早く暖機され燃料と時間が節約できます。
- ・極端な低温時や何日間も駐車しておいた場合は、エンジン内部にオイルを行き渡らせるため、始動後数十秒程待ってから発進しましょう。
- ・暖機運転しないで走行する際に大切なのは、視界の確保です。霜対策をしましょう。

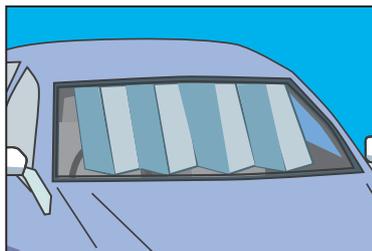
(2) エアコンの賢い使用

気象条件に応じて、こまめに温度・風量の調整をしましょう。特に、夏場に設定温度を下げすぎないことがポイントです。外気温25℃の時にエアコンを使用すると、燃料消費は14%程度増加します。

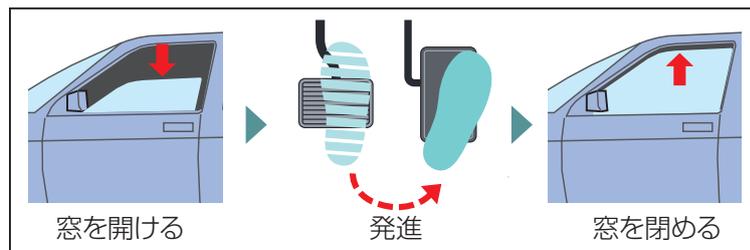
エアコンの使い方による燃料消費量の悪化状況



早く冷えるようにするには…



炎天下に駐車する場合
日よけをする



炎天下に駐車したあとの場合
エンジンをかけたら換気をするとともにすぐに発進する

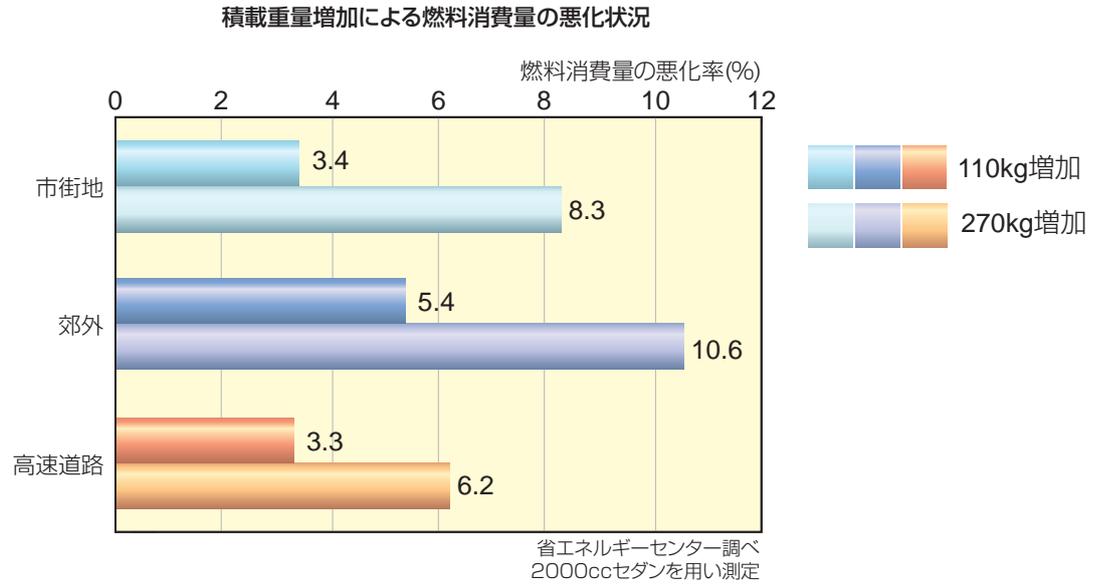
ポイント

- ・炎天下（外気温35℃）の条件下でエアコンを使用すると、オフの時に比べて38%燃料消費が増加します。エアコンの使用は、想像以上に燃料消費が増加します。
- ・エアコンを使用する時は、外気導入より内気循環で、風量調節は最大ではなくオートにすると、無駄な燃料を消費しないですみます。
- ・春や秋などは、エアコンをオフにして、外気を導入すると燃料の節約になります。



(3) 不要な荷物は積まずに走行

110kgの不要な荷物を載せて走ると、燃料消費は3.4%程度増加します。車は重くなるほど多くの燃料を消費します。運ぶ必要のない荷物は降ろして運転しましょう。

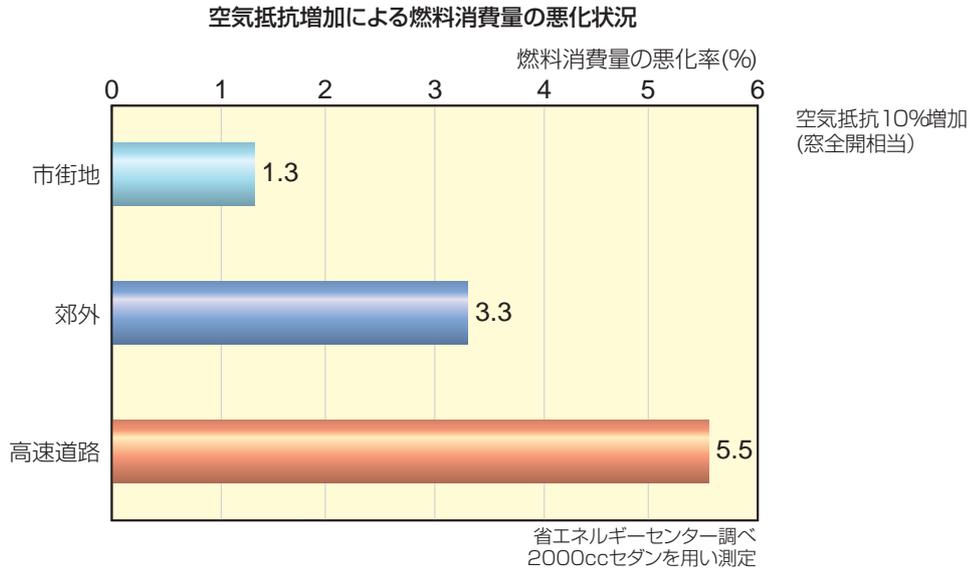


ポイント

- ・ 実際の走行では増加した荷物の重量分に加え、車が重たくなることによってアクセルを踏み込みがちになることも、燃料消費量増加に影響しています。不要な荷物を積まないようにしましょう。
- ・ ゴルフバック1個の重さは約10kgです。積みっぱなしの荷物が無いようにしましょう。
- ・ ガソリン30リットルは、22kgの重さになります。遠出をしないのなら、満タンにしないのも省エネです。

(4) 空気抵抗の低減

高速で走行する程、空気抵抗の影響は大きくなります。使わないルーフキャリアは外す、高速走行では窓を閉めるなどの対策をしましょう。空気抵抗が10%増加した場合、燃料消費は市街地では1%程度、郊外では3%程度増加します。



空気抵抗の増加率

測定条件	空気抵抗増加率 (%)
標準	0.0
スキーキャリア装着	40.8
スキー4セット装着	46.6
ルーフボックス装着	25.5
運転席の窓を全開	2.5
全席の窓を全開	10.6

100km/h走行時
省エネルギーセンター調べ
2000ccセダンを用い測定

ルーフキャリアの空気抵抗の増加状況

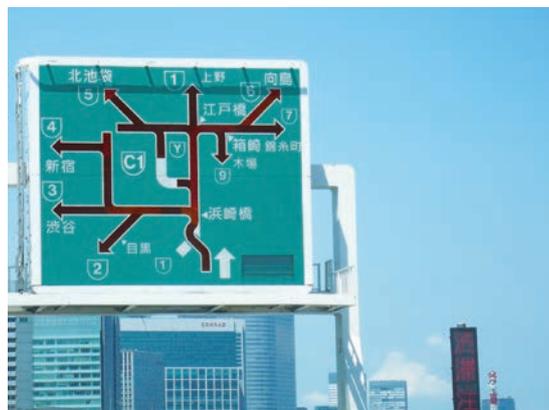


ポイント

- ・ 全席の窓をフルオープンにすると、空気の流れに乱れが生じ、空気抵抗が10%増加します。
- ・ 車の屋根に物を積むと、大きな空気抵抗が発生します。スキーキャリアだけの状態で、空気抵抗は41%増加し、キャリアにスキーを4セット装着すると47%増加します。

(5) 道路交通情報の活用

1時間のドライブで、道に迷って10分間余計に走行すると、燃料消費は17%程度増加します。行き先および走行ルートをおらかじめ計画・準備をしましょう。また道路交通情報を利用して渋滞を避ければ、燃料と時間の節約になります。カーナビやラジオ等で、道路交通情報をチェックしましょう。



(6) 駐車場所に注意

交通のさまたげになる場所での駐車は、交通渋滞をもたらす余分な排出ガスを出させる原因となります。平均車速が時速40kmから時速20kmに落ちると、燃料消費は45%程度増加します。誰にでもできる、ごく当たり前のマナーを守ることで、それだけでエコドライブに繋がります。

